

# ありま



令和8年6月30日  
学校だより7月号  
川崎市立有馬小学校

## タイミング

学校長 吾妻 典子

日頃からの教育活動にご理解・ご協力ありがとうございます。また、教育相談にも足をお運びいただいたことにも感謝申し上げます。

今年の梅雨は、本来の梅雨を感じさせ、雨の多い6月になりました。プールを楽しみにしていた子どもたちにとって、今は天敵となりうる雨ですが、自分たちの生活や自然には欠かせない雨と感じるにはまだまだもう少し時間がかかりそうですね。

さて、今、世間ではサッカーワールドカップで盛り上がっています。私もこの時だけは、にわかサポーターとなり、テレビの前で互いのゴールに、一喜一憂の声を上げながら応援してしまっている自分に気づきます。華麗にパスをまわし、得点源に結び付けるあの動き。一瞬の判断力のすごさにどういう思考回路になっているんだろうとってしまいます。しかも、当然ながらピッチに入れば監督にお伺いを立てることもできないあの状況下の元、自分のこれまでの練習と経験値から、一瞬の自己判断力でゴールに結びつける力には感服です。改めて選手の姿に感動を覚えます。

そして、そんな選手たちの姿に未来の子どもたちの姿を重ねてしまいます。

私は有馬小の子どもたちには、自分で判断できる自己解決能力をもってもらいたいと思っています。いつも誰かの指示を待つのではなく、どういう行動が今必要なのか？どういう動きが適しているのか？自分で考え、正しい選択に導いていく。それが自立への一步を踏み出すことではないでしょうか。時には、自己判断が間違っていることもあります。でもその時に、自分はどのような行動をすべきだったのか、しっかりと向き合う姿勢こそが、次の判断力に厚みを増すのです。そして、その時、大人の私たちはどう言葉をかけてあげるのか？どこで手を差し伸べるのか？どこの親も子どものことは心配です。思わず何にでも口を出したくなります。自分の子どもはどこまで判断力が育ち切れているのか、その見極めも難しいところです。その時の子どもたちの状況を判断し、見守る、支援、指導、励ます、応援、叱責等々・・・私たちも手を差し出すタイミングに教育力としての手腕が問われますね。

ワールドカップからの意外な話の展開。判断力という面から見てみると、選手一人ひとりの動きに、また違った楽しみ方ができるかもしれません。



○教育相談窓口：相談窓口担当は、支援教育コーディネーターです

○学校巡回カウンセラーの来校日は、7月8日、7月24日です。

\*相談ご希望の方は、電話でお申し込みください。(担当：支援教育C0 有馬小学校 866-1447)